

1. 代ゼミ入学期編

① 代ゼミに来る前は、生物はどんな科目だと思って、どんなふうに勉強していましたか？また生物は得意だったか苦手だったかを書いてください。それから「物理選択で全然勉強していなかった」なんて場合もあるでしょう。それならばそれを書いてください。

生物は、「物理ができないから」という消極的な理由で選びました。実際やってみると、暗記すること多くなって思っていました。大好きな日本史はストーリーで楽しくて覚えやすかったのですが、生物はただ教科書・参考書を機械的に覚える感じでした。セミナーとか重要問題集をメインにだらだらと解いていて、考察とか計算問題が嫌いでした。

ですよね～。生物が好きで選択する、というよりは物理から逃げ出した結果行き着いた先が生物だった・・・という学生は多いのですが。でも、どちらを選択しても、合格してしまえばいいのです(^。^)

② まわりの友人たちなどはどんなふうに勉強していましたか？

セミナーとか重要問題集を解いていたと思います。

セミナー・リードα、定番だよ。おれもリードαやっていた。

③ この時期は何大学の何学部を志望していましたか？

医学部です。この時期は、具体的にどことは決めてなかったです。

④なぜ代ゼミを選んだのですか？

地元であって唯一の対面授業を受けられる予備校だったからです。

新潟で、大手で、対面授業といえば代ゼミだね(^。^)

⑤なぜ大堀の生物を選んだのですか？

コースによって授業が指定されていたからです。でも、演習は選べて、最初は時間的に別の先生の授業をとっていました。しかし、大堀先生の授業の方がわかりやすかったし、楽しかったので途中で変えました。

ありがとうございます。伊達に25年間講師やっていませんので(^。^)/

⑥ 大堀の講義を受けたときの、最初の印象はどうでしたか？

元気でなんかクセのある先生だな・・・と（笑）ミラーとかあの辺の話から始めたのは意外でした。でも、一連の流れとなっていてよかったです。

あなたが「日本史はストーリーになっていて覚えやすかった」と前記していたように、生物にもストーリーがありわけです。単語を暗記するのではなく、ストーリーを暗記する、これが生物の成績アップのコツなのです。

⑦ この時期の予習・復習はどうしていましたか？(時間配分、他の科目との兼ね合いなど)

最初のころは演習の予習だけやっていました。数学が相当やばかったので復習はバスの中でノートを見直す程度でした。

そうそう、数学と英語。数学と英語ができないと、受験の土俵にあがることすらできないのです。

2. 1学期編

① そろそろ大堀の講義にも慣れてきたころ。大堀の講義をどのように感じていましたか？

ただ覚えさせるための授業というより、仕組みとか本質とか流れを教えてくれる人だなって思いました。あてられることで、考えるし、変なことや違うこと言って、つっこまれたり（怒鳴られたり）することで記憶にも残りやすいと思います。また、雑談的な話も、「受験に関係のない、どうでもいいこと」ではなく、生物の豆知識的なことで楽しかったです。とにかく楽しくて、90分があつという間でした。

仕組み・本質・流れ・・・これが大堀の講義です。これらを体得すれば、暗記しやすくなるだけでなく、暗記量を減らせるのです。

大堀は講義中、学生に質問するわけですが、これには次の狙いがあります。

- ①受け身ではなく、自分から考えてほしいから。
- ②学生がどんなことを考えているのかを確認するため。
- ③眠くならないようにするため。
- ④とんちんかんな解答が出ると面白いから。
- ⑤1人でしゃべっていてもつまらないから・・・というのがありますね。

② この時期はどのように生物を勉強していましたか？

4月下旬・5月上旬に受けた模試があまりにも惨憺たる結果で、数学も危ないけど、生物もやらなきゃまずいと焦り始めました。なので、先生の言いつけに背いて、生物にも時間を割くようにしました。授業の次の日の1限が空きコマだったので、その時間は復習シート、セミナーで該当ページを解く、資料集やノート、テキストを確認するというのをやっていました。その時間内に終わらないこともあったので、そういう時は、授業の空き時間、土曜日にもやっていました。

うまく時間をやりくりして、生物のための時間を作り出していますね。「英語と数学を中心にやれ〜」とは言いましたが、上記くらいは生物をやった方がいいですよ。

③ 生物の成績はどのように推移していましたか？ 模試の成績など。

6月に受けたマーク模試は7割で、まだまだだと焦りました。ちゃんと覚えてないところもあったし、考察もまだ慣れず・・・先生の所に質問しに行って、教えてもらいました。あと記述は、4月の模試が6割で、5月の模試は4割でした・・・

そうそう、よく質問に来ましたね。でも、根本からわかっていないということはなく、「知らなかったから」「勘違い」が多かったような気がしたな。

模試はあくまでも模試。本番でとればいいのです。頑張れ！！

3. 夏期編

① 夏期講習講座はとりましたか？ 何という講座を取りましたか？ いつごろその講座を取ることを決めましたか？ その講座を取った理由はなんでしょう？ その講座をどのように活用しましたか？

『大堀求の生物(腎臓・生体防御・神経・個体群・相互作用)』、『大堀求の(生態系・進化・系統分類)』、『センター生物』を取りました。

『大堀求の生物(腎臓・・・)』は、腎臓が壊滅的に苦手だったので、これを何とかしようと思ってとりました。それから、『大堀求の生物(生態系・進化・系統分類)』は、現役のとき、ほとんどまじめにやってなかったので、早めにやっとうと思ってとりました。演習の講座「ハイレベル生物」も取ったほうがいいんじゃないかと思って迷ったのですが、先生の助言をもとに、「センター生物」で基礎を固めようと思い、そちらを取りました。オリジナルは、授業でやったことは、良問(重要問題集がまだつらかったので、セミナーと重要問題集の間のレベルのもの)で演習したり、バスの中でテキスト見直したりして、定着できるように心がけました。「センター生物」は予習と復習をメインにやっていました。

『大堀求の生物(腎臓・生体防御・神経・個体群・相互作用)』、と『大堀求の(生態系・進化・系統分類)』2学期の内容のうち、独学では難しいものを扱います。夏のうちに、生物の全範囲を仕上げておくと、2学期以降の学習(生物だけでなく他の科目も)が非常にスムーズになるのです。

『センター生物』は、「生物がまだまだ苦手」という人におすすめ。生物のほぼ全範囲の基礎事項を説明します。

『ハイレベル生物』は、主に1学期の範囲の演習を行う講座です。

② 1学期の復習・さらに2学期の範囲の学習はどうしていましたか？

生物は、生物の講座のある週に、集中的にやっていました。復習は、「良問」をやっ
て、あとは、演習の授業の復習と、ノートの見直しをしました。2学期の範囲は講習
を活用し、余裕があれば「良問」で該当箇所の演習をしていました。

③ 成績はどのように推移していましたか？ 模試の成績など。

効果が徐々に出てきました！マーク模試で8割と初の9割が出て、記述も7割と8
割で偏差値も70を超えるのがちらほらありました。

そらきた～(> o <)♪ 眼が出始めましたね～。いい調子です。

4. 2学期編

① 夏期の学習が2学期にどのように影響を与えましたか？

夏の間、生物の全範囲を完全に覚え切ることはできませんでした。だから、2学期の授業で、夏期にやったことと同じ内容を質問されても、忘れていて、答えられないことがありました。そこで、2学期の授業で、夏にやった範囲を確認して、穴を埋めていくようにしました。でもやっぱり、夏のオリジナル講座を受けていなかったら、もっと大変な目に合っていたと思います。

うん、こんな感じでいいですよ。夏で完全に覚え切る必要はありません。夏のオリジナル講座でやったことを、2学期の講義で復習していけばいいのです。

② 2学期の範囲の学習と1学期の範囲の学習の兼ね合いはどうでしたか？

2学期から数学のテキストが格段に難しくなって、予・復習にかなりの時間を持っていかれました。当然、生物をやる時間がほぼ無くなりました。だから、授業の復習で手いっぱい、1学期の範囲は、センター用の分野別の問題集を少しやり、私大の赤本をたまに解くときに確認していました。

それでいいのです。数学ができないと、まず合格しませんからね。数学・英語をバンバンやってください。でも、これは夏に、生物をやっておいたから可能なのです。

③ 夏期講習講座の復習はどうしましたか？

夏期のテキストは、通常のテキストより軽めで持ち運びが比較的楽だったので、バスの中とか、数学で疲れた時に見返してました。

そうそう、生物はそんな感じで十分(^。^)

④ センター試験対策はどうしたか？ いつ頃始めましたか？ どのようなことをしましたか？

2学期に入ってから週に1回程度、センター用の分野別の問題集を少しずつやっていました。あと、生物に限らず、10月くらいから、センターの過去問を土、日やるようにしました。11月くらいから各出版社・各予備校の実践問題集にも手を付け始めました。

そうですね。11月に入ったら、実践的な演習を始めましょう。60分内に、すべての問題を解き切る練習をするのです。

⑤ この時期の成績の推移はどうでしたか？ 模試の成績など。このころ感じた不安などはありましたか？

9月に受けたマーク模試では、再び7割台に低下してしまいました。でも、11月のマーク模試で8割まで戻しました。偏差値は64~69くらいでした。2種類の記述模試を受けて、2つとも7割台でした。その偏差値63~67くらいでした。医学

部用の模試では、5割台で偏差値も56でした。自分は成績に波があり、ちょうど秋に下がりました。「このまま成績が上がらず、本番を迎えたらどうしよう」という不安がありました。やるべきことを定めて不安に押しつぶされないように気を付けました。模試でできた不明な点は残さないようにし、大事なこととか、知らなかったことをテキストに書き込んだりしていました。

そうだよ。スランプに陥ると、「これがず〜っと続くのでは？」と不安になるものです。そんなときでも、「地道な積み重ね」を続けるのです。それがスランプを抜け出す方法です。「やるべきことを定めて、とにかくそれをやり続ける」「模試で出てきた不明な点を残さないようにする」「知らなかったことをテキストに書き込む」、こうしたことを地道に積んでいくのです。

5. 冬期編

① 冬期講習講座はとりましたか？ 何という講座を取りましたか？ いつごろその講座を取ることを決めましたか？ その講座を取った理由はなんでしょう？ どのように活用しましたか？

I期では『大堀求の生物(センター試験：実験考察問題対策)』、『センター生物テスト(サテライン)』を取って、II期では『大堀求の生物(頻出・最新・難解分野対策)』を取りました。どの講座を受講するかは、I期のものは11月ごろに、II期のものはセンターの自己採点後に決めました。信頼している古文の先生が「この時期は、理科と数学は数をこなせ」と言っていたので、演習量を確保しようと『センター生物テスト』を取りました。さらに、弱点だった考察も鍛えたかったので、大堀先生オリジナルの講座『大堀求の生物(センター試験：実験考察問題対策)』もとりました。テキストの予・復習をやって、抜けていた部分は、1・2学期のテキストやノートで見直し、そのあと実践問題集やパックで力試しをしたりしていました。II期の講座は、難しくて予習も大変だったけれど、センターボケの解消になりました。あと、いろいろな生物学的思考が身につけられ、大学に入ってから役に立つこともありました。

冬期講習会をうまく活用できたみたいですね。なお、冬期講習会には次の講座があります。

- 『大堀求の生物(センター試験：実験考察問題対策)』 読んでわかるとおり、センター試験の実験考察対策講座です。結構レベルの高い「考える問題」を扱いますよ。もちろん、センター試験だけではなく、国公立二次・私大の対策にもなります。
- 『センター生物テスト(サテライン)』 本番の練習をする講座です。予想問題を、30分以内に解き切り、そのあと60分間解説を受けます。解いた後にすぐ解説を受ける、これが効くんです。
- 『大堀求の生物(頻出・最新・難解分野対策)』 国公立2次・私大で狙われるテーマを扱う講座です。毎年、この講座からの中間問題が出るのです。1・2学期では扱わなかった内容もてんこ盛り。大学に入ってから役にも立つ講座です。

② 1学期の復習・さらに2学期の範囲の学習はどうしていましたか？

演習と併行して、ノートやテキストを見直していました。

④ 成績はどのように推移していましたか？ 模試の成績など。

プレを2種類受けたところ、それぞれ8割台と9割台でした。また、偏差値は68くらいでした。受験が終わって整理しているときに、現役の時のプレの成績表が出てきたのですが、両方とも6割台・偏差値50台でした。あらためて「すごい伸びたんだ」って驚きでした。マーク問題集も9割とれるようになってきました。でも油断せず、まだ穴とか変な勘違いもあったので、より確実にして、本番で最高点出せるように頑張りました。

う～ん、伸びましたね～♪ あなたの努力のたまものです。あともう少しだ。頑張れ～(^。^)/

⑤ センター試験の対策はどうしていましたか？

4社の実戦問題集を時間短縮してやり、3社のパックもやりました。やりっ放しにせず、復習もしっかりやり込みました。(当たり前なことだけど、現役の時はこれできていませんでした。) 今まで受けたマーク模試の復習もしました。

すばらしい。そうなんです。模試は、絶対にやりっぱなしは禁物です。模試は一喜一憂するものではなく、自分の足りない部分を発見し、それを埋めるためのものです。間違えた部分は、必ず解説を読みこんで、自分のものにしておきましょう。

6. 直前期編

① 1・2月の生物の学習はどうしていましたか？

センター試験まではセンター対策だけをやり、センター試験後は前期と私立の赤本、テキストの復習、先生に勧められた大学の過去問をやりました。

そうそう、センター試験前は、センターの対策だけでいいのです。なぜなら、センター試験でコケると、その時点でTHE END。医学部の夢は断たれるからです。

② 何大学の何学部を受験しましたか？

新潟大学の医学部と自治医科大学です。

③ 受験の前日・当日にやったことは？

生物は、テキストを持って行ってそれを見直していました。テキストにはいろいろ書き込みをしていたので(授業中、大堀先生に「書け」と言われたことや、勉強していて自分で必要だと思ったこととか)それで十分でした。あとは先生に書いてもらったナッピーを見て和んでいました(笑)。

いいね。不安に対抗するものは、それまで努力です。テキストは、眺めるだけで不安が低減。これまでの努力の証だよね。

あともう少し。ナッピーも応援しているぞ！！

7. その他

① 受験校・学部が決定したのはいつごろですか？

推薦だったので、9月ごろには決まっていました。私大は夏ごろからの志望校でした。前期と後期はセンター後にリサーチ、担任や複数の講師の先生と相談して決めました。

② スランプの時期はありましたか？ またどういうふうに克服しましたか？

9、10月ごろがスランプでした。どの科目も調子が出なかったのですが、前向きに、やるべきことはブレずにやりました。高校とのやり取りに若干ストレスを感じていたかも…。あと、センター1週間前も相当ブルーで、数学への焦りがひどかったです。我慢できず泣いてしまいましたが、生物の講義のとき、いつも隣で授業を受けていた友達が話を聞いてくれて落ちつけました。浪人中は気分の浮き沈みが結構ありましたが、友達の存在は大きかったです。

そうなんだよね。さっきも書いたけれど、スランプのときこそ、決めたことをブレずに地道にやりぬく。これしかないんだよね。その結果は、スランプを抜け出したときに現われる。つまり、成績アップとしてね。

センター1週間前は、まずほとんどの学生が焦りまくっているでしょうね。焦っていないのは、自分の実力・センター試験の現実をまだわかっていない現役生でしょうか？ (←かつての自分のことね(^。^ ;))。

③ ストレス解消法などありましたか？

友達と他愛もないことや、ばか話をしたり、絵しりとりをしたりして爆笑することがストレス解消になっていました。たくさん笑うようにしていました。

笑うのが一番のストレス解消なんですが、やはりこういうときは、友達がいるといいよね。おれもそうだったのを思い出したわ。

8. 大堀の講義は今、大学でも役立っていますか？

それから後輩たちへの応援メッセージなど。

私が通っている大学では、1年生の間に医学に関する入門的な授業があります。そこでは、大堀先生が講義で話していた内容が時々出てきます。医学論文を読む授業があって、そこでのがんのことやしているのですが、「p53」とか「RNA干渉」とかが出てきます。でも、冬期Ⅱ期の講習で習っていたので、理解しやすかったです。大堀先生の授業で培った生物学的思考は大学入試でも、大学でこれからも役立っていくと思います。

生物は、大堀先生についてって、ちゃんと勉強すれば大丈夫です。先生のおかげで本当に伸びました。質問も自分が納得するまで教えてくれたし、相談にもものってもらい、めちゃくちゃ感謝しています。授業は前の方に座って、先生にあてられ、ときにはいじられ、どやされた方が絶対いいです。楽しいし、考えるし、眠くならないし、記憶にも残るんじゃないかと思います（偶然かもしれないけど、前のほうの席に座ることで、1年間先生にどやされた人が4人いましたが、みんな国立の医学科に受かっています\(^o^)/

あとは大堀先生がよく言うことですが、英・数はほんとに大事です。数学できないと受験はもちろん、大学でもつらいです。できない人はほんと頑張ってください(数学がヤバイ人は、こばきよに相談しましょう)。

それと、自分が本当に行きたい大学があるのなら、そこに行けるように考えて勉強してほしいです。

1年間あっという間でした。代ゼミにはほんと、すごい先生がいっぱいいます。浪人

して価値観とか変わって、自分にとってすごいプラスになりました。毎日大切に過ごして下さい。せっかく浪人したなら行きたいところに行ってください。応援しています。

(^O^)/

いや～、よく頑張りました。新潟大学医学部・自治医科大学、両方に合格するとは、立派です。おめでとう。

大学では、医学はもちろんのこと、人間的にもさらに磨きをかけていってください。将来、楽しみにしていますよ～♪